

形状記憶合金尿道ステント

メモカス028 & 044



排尿障害には
メモカス028

形状記憶能により挿入と抜去がスムーズに…

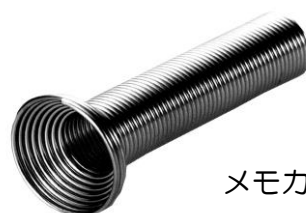
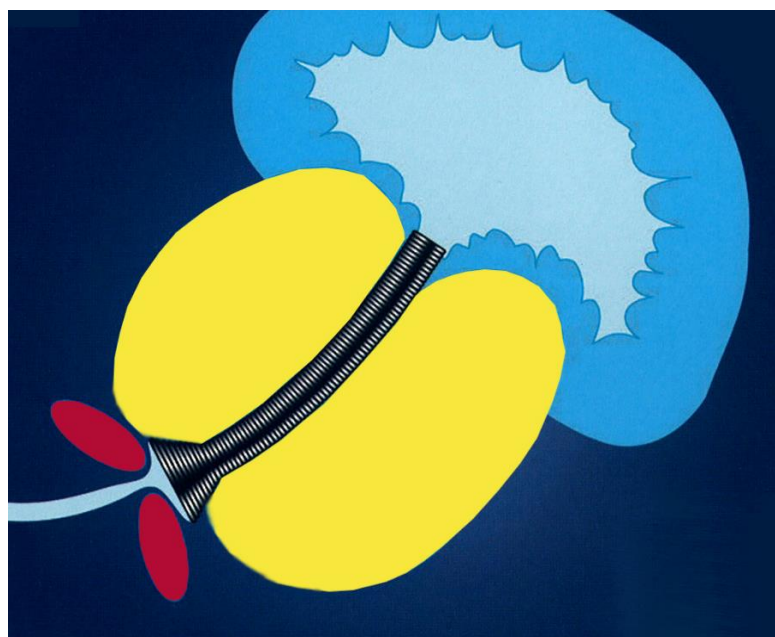
承認番号：22700BZX00339000

MEMOKATH®（メモカス） は、ニッケルチタン（NiTi）形状記憶合金製の線材であり、コイル状に巻かれた製品はステントと呼ばれ、ステントの一部は 55℃～60℃の湯により拡張し、10℃以下の冷水により軟化します。

ステントは現在**メモカス 028**、**メモカス 044** の 2 種類有ります。

- ① メモカス 028 とは膀胱遠位端拡張型の前立腺部尿道ステント
- ② メモカス 044 とは膀胱近位端拡張型の前部尿道狭窄用ステント
- ③ メモカス 028、044 は共にニッケルチタン（NiTi）製で磁化されないため、MRI 検査も可能です。

メモカス 028…前立腺部尿道ステント（膀胱遠位端拡張型） **特定保健医療材料製品**



メモカス 028TW

ニッケルチタン合金製の形状記憶型尿道ステントで、前立腺の動きにも追従できるよう、非常に柔らかく、しかも組織が入り込まぬよう密にコイル状に巻かれた金属製ステントです。

また患者の前立腺の大きさに合わせられるよう、サイズは 30mm から 90 mm まで 10mm 間隔で揃えられています。

◎メモカス 028 適用症例

- ◆高齢で手術に適した予備能力や体力がなく、様々な合併症を有する患者
- ◆ご家族や、ご自身が手術を躊躇される患者
- ◆本人の意識下で自排尿が出来ない（神経因性膀胱等）患者や、自排尿の判別が出来ない（認知症等）患者で長期留置カテーテルのかわりに全尿失禁とし、おむつ管理を希望される患者。
- ◆経尿道的前立腺切除術等を施行するまでの待機期間中でカテーテル留置がいやな患者。

◎メモカス 028 留置

メモカス 028 の留置は、X 線透視室（又は手術室）において X 線透視下で、使用ステントのサイズ決定、ステントの挿入、留置を行います。

使用ステントのサイズ決定は X 線透視用特製メジャーを用いて行います。

ステント挿入時のステント形状はストレートです、所定の位置で 55℃から 60℃の湯を注入すると膀胱遠位端が拡張し、ステントが固定されます。

ステント留置に要する時間は X 線透視室において 30 分前後で終了し、留置後その場で排尿確認が行えます。

※メモカス 028 の留置は内視鏡下、エコー下でも可能です。

◎メモカス 028 は保険適用製品です

メモカス 028 は特定保険医療材料製品に指定されており、保険適用となります。

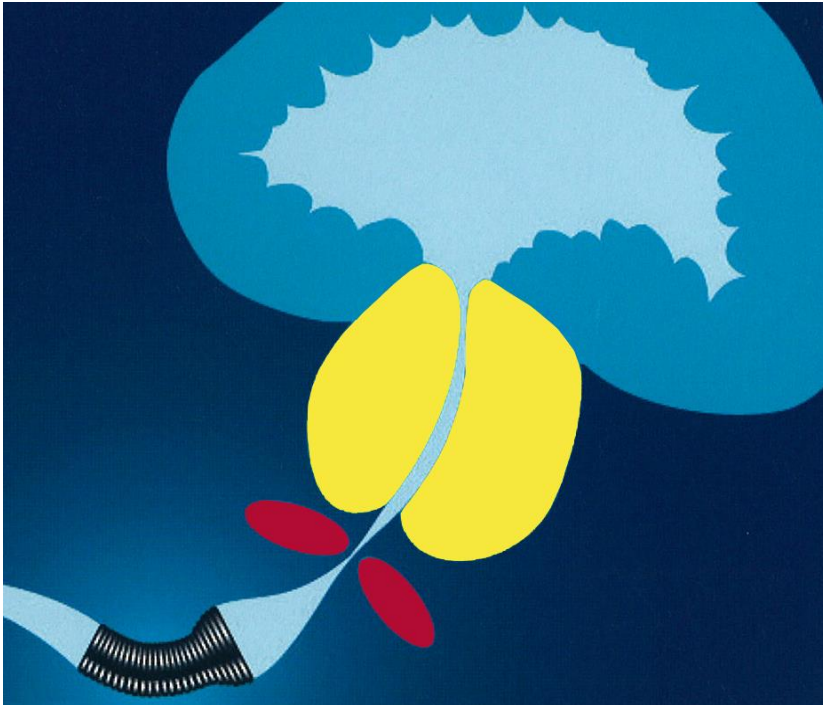
特定保険医療材料 II036 尿道ステント (1) 一時留置 (交換) 型 ①長期留置型

保険請求価格 169,000 円 (保険償還による、税込み)

手術手技料 区分「K821-3」尿道ステント前立腺部尿道拡張術 (12,300 点)

2016 年 5 月現在

メモカス 044…尿道狭窄用ステント (膀胱近位端拡張型) **特定保健医療材料製品**



メモカス 044TW

メモカス 028 と同様にコイル状のニッケルチタン合金製の形状記憶型尿道ステントです。

55℃～60℃の湯を注入すると膀胱近位端が拡張します。

サイズは 30mm、40mm、50mm 3 種類揃えております。

◎メモカス 044 適用症例

- ◆尿道外傷による、尿道断裂手術後の狭窄予防及び狭窄による排尿改善
- ◆内視鏡操作後や長期フォーリー留置による尿道狭窄症例
- ◆難治性尿道狭窄によりブジーや切開などの処置を繰り返している症例

◎メモカス 044 留置

メモカス 044 は透視下または内視鏡下で、尿道狭窄部をまたぐように挿入、所定の位置で 55℃から 60℃の湯を注入すると、ステントの膀胱近位端が拡張し固定されます。

◎メモカス 044 は保険適用製品です

メモカス 044 は特定保険医療材料製品に指定されており、保険適用となります。

特定保険医療材料 II036 尿道ステント (1) 一時留置 (交換) 型 ①長期留置型

保険請求価格 169,000 円 (保険償還による、税込み)

手術手技料 区分「K821」尿道狭窄内視鏡手術 (15,040 点)

2016 年 5 月現在

メモカス 028TW 仕様



メモカス 028(太径タイプ)	製品番号	EANコード	長さ	外径	償還価格
	028TW-30	5708500000258	30mm	24Fr	¥169,000
	028TW-35	5708500001576	35mm		¥169,000
	028TW-40	5708500000296	40mm		¥169,000
	028TW-50	5708500000319	50mm		¥169,000
	028TW-60	5708500000333	60mm		¥169,000
	028TW-70	5708500000357	70mm		¥169,000
	028TW-80	5708500000371	80mm		¥169,000
メモカス 028(軟性鏡用)	028SW-90	5708500000388	90mm	(拡張部 44Fr)	¥169,000

メモカス 044TW 仕様



メモカス 044(太径タイプ)	製品番号	EANコード	長さ	外径	償還価格
	044TW-30	5708500000562	30mm	24Fr	¥169,000
	044TW-40	5708500000579	40mm		¥169,000
	044TW-50	5708500000586	50mm	(拡張部 44Fr)	¥169,000



製造元

pnnmedical



輸入総発売元

株式会社キースマック

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-2-8

TEL 03-3292-2506 FAX 03-3292-2507

E-Mail : info@kysmaq.co.jp

URL: http://www.kysmaq.co.jp

メモカス O28SW 留置方法 (軟性鏡による留置)

輸入・発売元
株式会社キースマック
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-2-8
TEL03(3292)2506 FAX03(3292)2507
E-mail: info@kysmaq.co.jp
URL: http://www.kysmaq.co.jp

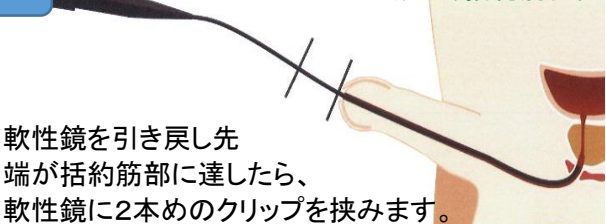
1 クリップ2本準備する。 サイズ測定 1



2 サイズ測定 2; 膀胱頸部位置



3 サイズ測定 3; 括約筋位置



4 測定値+5mm ステントの選別



5 挿入システムへの軟性鏡取付け(1)



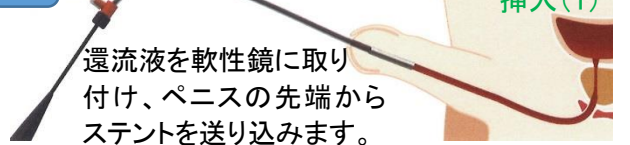
6 挿入システムへの軟性鏡取付け(2)



7 セットの黒いツマミを反対方向に回し軟性鏡に固定します。 システム取付け完了



8 メモカスの挿入(1)



9 メモカスの挿入(2)



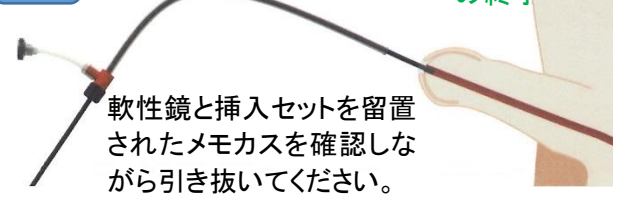
10 温水注入の準備



11 温水注入



12 メモカス留置の終了



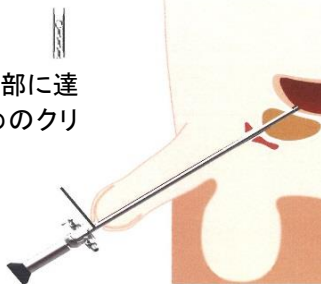
メモカス O28TW 留置方法 (硬性鏡による留置)

輸入・発売元
株式会社キースマック
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-2-8
TEL03(3292)2506 FAX03(3292)2507
E-mail: info@kysmaq.co.jp
URL: http://www.kysmaq.co.jp

1

サイズ測定 1; 膀胱頸部位置

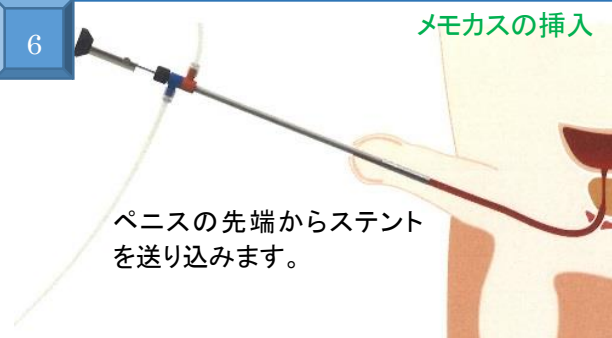
硬性鏡の先端が膀胱頸部に達したら、硬性鏡に1本めのクリップで挟みます。



6

メモカスの挿入

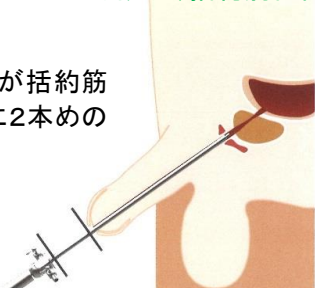
ペニスの先端からステントを送り込みます。



2

サイズ測定 2; 括約筋位置

硬性鏡を引き戻し先端が括約筋部に達したら、硬性鏡に2本めのクリップで挟みます。



7

温水の準備

55～60℃の温水入り注射器を温水注入チューブに取り付けます。

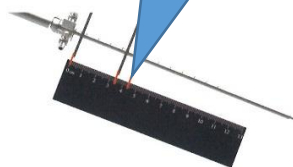


3

ステントの選別

測定値+10mm

ステントサイズの決定は測定値に 10mm 足し、その値を補えるサイズとします。



8

温水注入

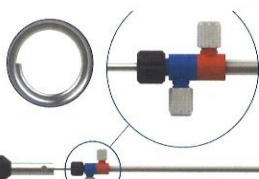
メモカス先端部が膀胱頸部に達したら温水を 50～80cc 注入してください。



4

挿入システムへの硬性鏡取付け

挿入システムの黒いツマミを2、3回まわし、白色の芯棒を硬性鏡の光学視管で押し出し視野が(メモカス)コイルの 2 巻きになったら光学視管の送り込みをやめて、挿入システムを光学視管に固定してください。



9

光学視管の抜去

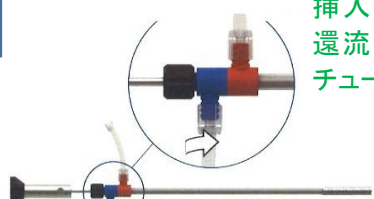
挿入システムと光学視管を引き戻しステントの拡張部を確認後光学視管をシステムから引き抜いてください。



5

挿入システムへの還流液と温水注入チューブの取り付け

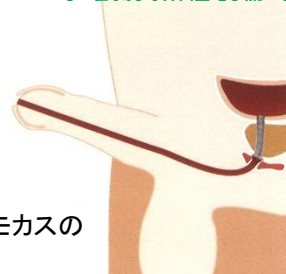
還流液を挿入システムに取り付け、同時に温水注入チューブを取り付けます



10

メモカス留置の終了

挿入システムを抜き取りメモカスの留置が終了です。



メモカス留置方法（透視下）

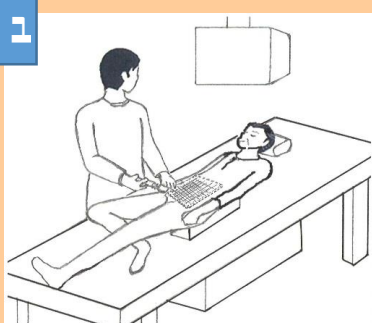
輸入・総発売元
株式会社キースマック
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-2-8
TEL(03)3292-2506 FAX(03)3292-2507
E-mail : info@kysmaq.co.jp
URL: http://www.kysmaq.co.jp

透視下メモカス留置に必要な器材

- 1) メモカス 028TW【持込み品】
- 2) 10Fr. (又は 12Fr) 腎盂バルーンカテーテル (ロングタイプ)【持込み品】
- 3) 温度計 (水温測定用)【持込み品】
- 4) 消毒液 (ヒビテン又はイソジン)
- 5) 手術用手袋 (術者用)
- 6) 80℃以上の生理食塩水 200ml、使用時 60℃に湯温調整
- 7) 生理食塩水 500ml (室温)
- 8) 局所麻酔剤 (キシロカインゼリー 30ml)
- 9) 造影剤 (イオパミロン 150 または 300)
- 10) X線不透過メジャーシート【持込み品】
- 11) ディスポシリンジ 50ml (温水用)、3ml 又は 5ml (バルーン用)
- 12) カテーテルチップ 50ml
- 13) 尿道ブジー
- 14) ビーカー 500ml (生理食塩水)、50ml (造影剤用)
- 15) 無鉤ドレッシングピンセット
- 16) 膿盆
- 17) 尿瓶
- 18) 無菌ドレープ 穴あき
- 19) 無菌ドレープ シーツ
- 20) ガーゼ
- 21) ガイドワイヤー

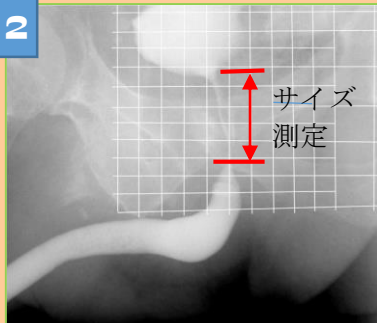
メモカス留置方法

1



X線透視室において仰臥斜位でX線不透過メジャーシートを臀部下に敷き、尿道造影をします。

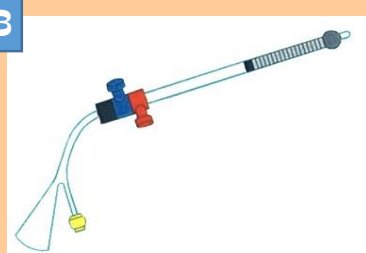
2



前立腺部尿道長を計測し、使用するメモカスのサイズを決定します。
例…赤線間 5cm 使用するメモカスは 028TW-50mm となります。

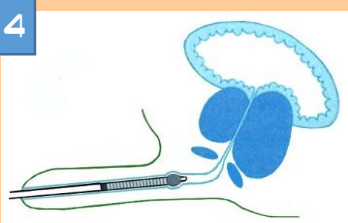
【注】手術室等でCアームを使用する場合は、X線不透過メジャーシートを腹部上に置いて計測します。

3



12Fr 腎盂バルーンカテーテルを先端にゼリーを付けメモカス挿入セットのシースに通します。シリンジに 0.2ml 程度の滅菌精製水等にてバルーンをステントの直径より若干大きくふくらませメモカスをシースに固定します。

4



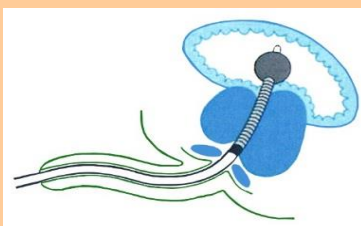
ステントにゼリーを十分に塗布し、透視下でメモカスを挿入します。メモカスの先端部が括約筋を越すまでは尿道を引き緩みの無い状態で挿入してください。

5



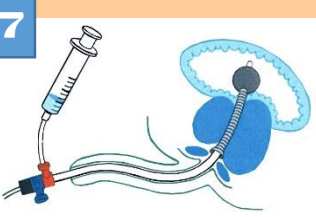
メモカスの先端を膀胱頸部より意識的に出します。

6



バルーンを 2~3ml 程度の滅菌精製水で大きくふくらませ、メモカス先端を膀胱頸部まで引き戻します。中葉肥大がある場合は先端を数ミリ頸部より出します。

7



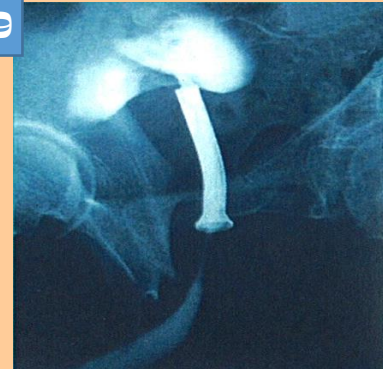
注入水温が適正かチェックします。
熱いことを事前に患者様に伝えておきます。
赤いサイドポートより 55~60℃の温水を注入します。ステント端が拡張し、固定されます。

8



バルーンの液を完全にデフレートしてからカテーテルを抜去し、シースから尿が流れることを確認したら、シースを抜去し終了です。

9



尿道造影にてメモカスの位置を確認します。

尿道ステント メモカス028 留置上の注意

1) 尿道に異物(石等)があると挿入出来ませんので、必ず取り除いてからメモカス挿入を行ってください。

2) 10Frの腎盂バルーンをメモカスの内部を通し、バルーンをメモカスの外径より若干大きめに膨らませ、バルーンをメモカスの端に接触させ、シースの黒いツマミを締め腎盂バルーンを固定し、尿道に沿って所定の位置まで送り込んでください。

尚通常は 10Frの腎盂バルーンを使用しますが、12Frの腎盂バルーンを用いると腎盂バルーンの腰が強くなり、メモカスの挿入がスムーズに行えます。

3) 前部尿道上に傷等有る場合、挿入が困難になるので、ガイドワイヤーを用いてください。また前立腺部尿道に異状が見られるばあいもガイドワイヤーを用いてください。(Fig-3)

4) メモカス留置中、膀胱側に送り込んでいるとき進まなくなるときがあります。この時に一度引き戻すことがありますが、必ず腎盂バルーンを引いて戻してください、絶対にシースを引かないでください。

シースを引き戻すとメモカスを伸ばしてしまったり、メモカスとシースが離れてしまう事があり、正しい留置が行えない場合があります。

5) 留置中にメモカスが多少変形(先端及び末端の伸び等)しても、50℃～60℃の湯を注入すると正しいメモカスの形状となりますので、所定の位置に留置してください。

【注意】メモカスの変形の正常化には限界点があります。

6) 湯を入れメモカス末端を拡張するとき、拡張部位の状況により、さまざまな形で拡張されますので、急速に拡張させる為できる限り高温(55～60℃)の湯を用いた方が良いかと思われます。

また拡張時、拡張部位で上部に向く力が発生することがありますので、軽くシースと腎盂バルーンを支持してください。

7) 留置後、膀胱側に移動(又は誤留置)した場合、メモカスを引き戻すのには腎盂バルーン(12Fr以下)を用いて引き戻してください。

8) 留置後、失禁等が続く場合は付属の拡張棒又はブジー等を用いてメモカスを押し込んでください。

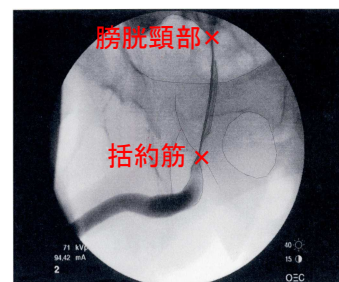


Fig01(前立腺長の測定)

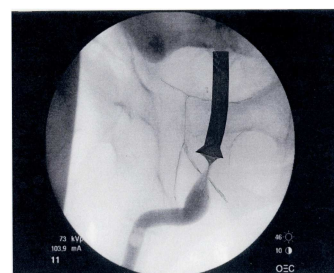


Fig02(測定値に合わせ留置されたメモカス)

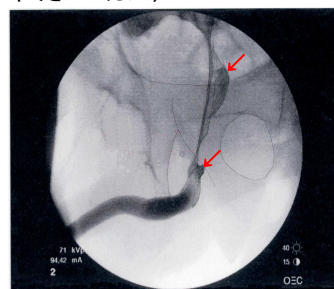
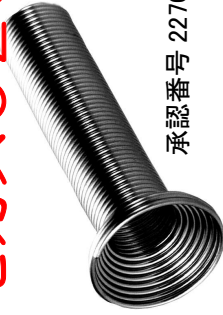


Fig03(ガイドワイヤーを使用するのが望ましい場合)

尿道ステント メモカス028



承認番号 22700BZX00339000 号

前立腺肥大症による尿閉や排尿障害でお困りの方に……

尿道ステントメモカス028をお勧めします。

尿道ステント留置術

尿閉や排尿障害の有る方の前立腺部に、尿道ステントを挿入留置し、短時間で改善する低侵襲的保存療法です。勿論保存療法ですので出血もほとんど無く、身体に負担はかかりません。

”メモカス028”で何？

チタン-ニッケル合金製の形状記憶型尿道ステントです。前立腺の動きにも追従出来るよう、非常に柔らかくコイル状に巻かれた金属性の製品で、前立腺部に留置します。またほとんどのサイズの前立腺に対応出来るように種類も豊富に30mmから40、50、60、70、80mmと6種類用意されています。

またメモカス028は非磁性体のチタン-ニッケル合金製ですので、MRI検査も可能です。

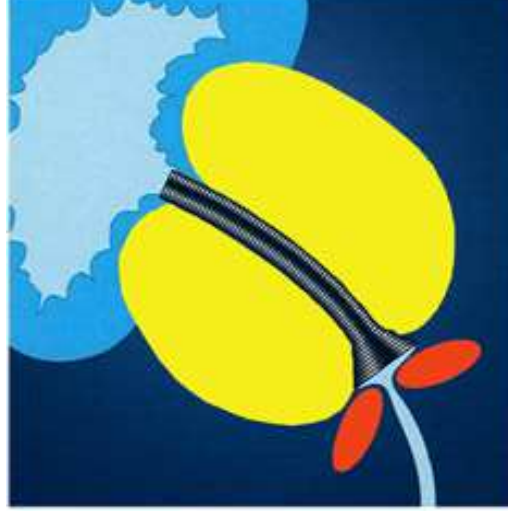
メモカス028は 保険適用製品です

メモカス028は特定保険医療材料として認められていますので経済的負担が少なくてすみます。

メモカス028適用症例は？

- ◆ 高齢で手術に適した予備能力や体力がなく、様々な合併症を有する方。
- ◆ ご家族や、ご自身が手術はチョットとお考えの方。
- ◆ 経尿道的前立腺切除術等を施行するまでの待機期間中でカテーテル留置がいやな方。
- ◆ 本人の意識下で自排尿ができず、失禁管理を望まれる方。

メモカス028の留置は？



メモカス028の留置は、手術室(又はレントゲン室)においてX線透視下で行ないます。

留置に要する時間は30分前後で、留置後その場で排尿確認ができます。

入院されている患者さんは勿論、外来通院の日帰り治療も可能です。

メモカス028留置後は、自排尿が可能となり尿道カテーテル留置時と違って、感染の危険性が減少し、QOL(生活の質)が向上します。

留置後の注意

- ◆ 医師から渡された患者証明カードを必ず携帯していきましょう。
- ◆ 乗馬とか非常に重い物を踏ん張って持つような過激なことは控えてください。
- ◆ メモカス028は永久的な物ではありませんので継続的な通院を行なってください。
- ◆ 尿道カテーテル等の挿入処置をうける前には担当医にご相談ください。

非常に残念なことですが、稀にメモカス028が合わない方がいますので、詳しいことは当院の医師にご相談ください。

前部尿道狭窄用ステント メモカス044



承認番号 22700BZX00339000 号

前部尿道狭窄の排尿障害でお困りの
方に……

尿道ステント**メモカス 044**をお勧めし
ます。

メモカス 044 留置術

前部尿道の狭窄により尿閉や排尿障害の有る方に、メモカス 044 を挿入留置し、短時間で改善する低侵襲的保存療法です。勿論保存療法ですので出血もほとんど無く、身体に負担はかかりません。

”メモカス044”で何？

チタン-ニッケル合金製の形状記憶型前部尿道狭窄用ステントです。非常に柔らかくコイル状に巻かれた金属性の製品で、狭窄部に留置します。またサイズは太径で 30、40、50mm、細径で 30mm、40mm、50mm、60mm、70mm が有り、どのような狭窄にも対応出来ます。

チタン合金製ですので、MRI検査も可能です。

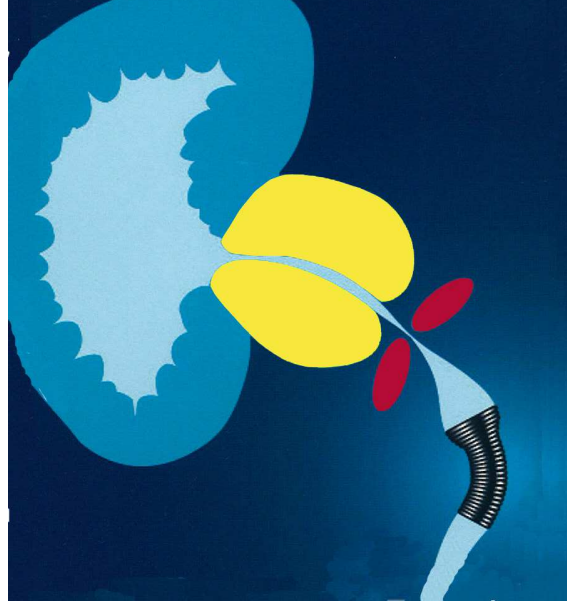
メモカス044 は 保険適用製品です

メモカス 044

は特定保険医療材料として認められていますので経済的負担が少なくてすみます。

メモカス044 適用症例は？

◆前部尿道の狭窄により、尿閉、排尿障害となり、頻繁に尿道拡張を繰り返している方。



メモカス044 の留置は、手術室（又はレントゲン室）において内視鏡下または X 線透視下で行ないます。

留置に要する時間は 30 分前後で、留置後その場で排尿確認ができます。

入院されている患者さんは勿論、外来通院の日帰り治療も可能です。

メモカス044 留置後は、自排尿が可能となり尿道カテーテル留置時と違って、感染の危険性が減少し、QOL(生活の質)が向上します。

留置後の注意

- ◆医師から渡された患者証明カードを必ず携帯しててください。
- ◆乗馬とか自転車に乗るなど過激なことは控えてください。(会陰部に刺激を与えることは控えてください)
- ◆メモカス044 は永久的な物ではありませんので継続的な通院を行なってください。
- ◆尿道カテーテル等の挿入処置をうける前には担当医にご相談ください。

非常に残念なことですが、稀にメモカス044 が合わない方がいますので、詳しいことは当院の医師にご相談ください。

メモカス 028 保険適用のご案内

- 対 象 製 品 名 : メモカス 形状記憶ステント
- 承 認 番 号 : 22700BZX00339000
- 特定保険医療材料 : II 036 尿道ステント (1)一時留置(交換)型 ①長期留置型
- 保 険 請 求 価 格 : 169,000円 (保険償還価格による、税込み)
- 手 術 手 技 料 : 区分「K821-3」尿道ステント前立腺部尿道拡張術
(12,300点)として算定する。但し、手術に伴う画像診断
及び検査の費用は算定しない。
- レセプト記載例 :

手術実施日記入 (月 日)	
尿道ステント前立腺部尿道拡張術	12,300 x 1
区分「K821-3」(123 千円)	
麻酔薬剤(局所麻酔)	点数 x 1
キシロカイン・ゼリー 20ml	
II 036(1)① メモカス XXmm (169 千円)	16,900 x 1
使用薬剤(抗菌剤他)	点数 x 1

- 適 応 症 例 : 前立腺肥大症による尿閉及び排尿障害を有する高齢の患者で、合併症
による手術不適應の患者、手術非希望の患者、さらに手術までの待機
期間中のカテーテル留置を余儀なくされた患者を対象とする。

製造販売元

東京都千代田区猿樂町 2-2-8
映文社ビル 3 階
株式会社 キースマック
TEL:03 (3292) 2506 FAX:03 (3292) 2507

メモカス 028T/TW/SW 留置/抜去の際に準備するもの

【留 置 時】

- ① メモカス 028T/TW/SW セット【持込み品】
- ② 腎盂バルーン 12Fr. 42cm【持込み品】
- ③ 温度計(水温測定用) 【持込み品】
- ④ 消毒液(ビ^レテン又はイゾ^ン)
- ⑤ 手術用手袋(術者用)
- ⑥ 60℃以上の滅菌精製水(又は生理食塩水)
200cc
- ⑦ 生理食塩水 500cc
- ⑧ 局所麻酔剤(キシロカイン^ゼリー等)
- ⑨ 造影剤(イハ^ミロ^ン等)
- ⑩ デ^イス^ホ・シリ^ンジ^グ 50cc, 3cc 又は 5cc
- ⑪ 浣腸器・50cc
- ⑫ 尿道フ^シー
- ⑬ ビ^ーカー・300cc
- ⑭ 無鉤ト^レッシ^ング^ビン^セット
- ⑮ のうぼん
- ⑯ 尿瓶
- ⑰ 無菌ト^レフ^穴あき
- ⑱ 無菌ト^レフ^{シー}ツ
- ⑲ ガ^ーゼ^ー

【抜 去 時】

- ① 温度計(水温測定用) 【持込み品】
- ② 硬性又は軟性膀胱鏡
- ③ 鰐口把持鉗子(上記②に適合したもの)
- ④ 消毒液(ビ^レテン又はイゾ^ン)
- ⑤ 手術用手袋(術者用)
- ⑥ 5～10℃の滅菌精製水(又は生理食塩水)
500cc
- ⑦ 局所麻酔剤(キシロカイン^ゼリー等)
- ⑧ デ^イス^ホ・シリ^ンジ^グ 50cc, 3cc 又は 5cc
- ⑨ 浣腸器・50cc
- ⑩ ビ^ーカー・300cc
- ⑪ 無鉤ト^レッシ^ング^ビン^セット
- ⑫ のうぼん
- ⑬ 無菌ト^レフ^穴あき
- ⑭ 無菌ト^レフ^{シー}ツ
- ⑮ ガ^ーゼ^ー

平成30年4月1日改訂 手技料

		改訂前	改訂後
K798	膀胱結石、異物摘出術		
1	経尿道の手術	8,320点	8,320点
K815	尿道結石、異物摘出術		
1	前部尿道	2,180点	2,180点
2	後部尿道	5,250点	6,300点
K821	尿道狭窄内視鏡手術	15,040点	15,040点
K821-3	尿道ステント前立腺部尿道拡張術	12,300点	12,300点

尿道ステント メモカス 留置後の注意事項……………

尿道ステント メモカス を留置された方は、必ず留置1週間後、3週間後、1ヶ月後、3ヶ月後、6ヶ月後、1年後と定期健診を受けてください。

I 留置後1ヶ月位は下記のことに注意し、留置直後は安静にしてください。

- 1) 踏ん張らなければいけないような、重い物を持ったり、ささえたりしないでください。
- 2) 椅子等に腰を下ろす時、急激な着席はやめてください。
畳に座る時も同様にしてください。
- 3) 入浴の際、浴槽の縁に下腹部を強く押し付けしないでください。
- 4) 自転車、バイク等にはなるべく乗らないでください。
- 5) 乗用車、バス等に乗るとき着席時には十分注意してください。
- 6) 階段、又は段差のある所での飛び降り、踏み外しに十分気をつけて、これを行なわないで下さい。
- 7) 過激な行動は避けてください。
- 8) 転んだり、しりもちをついたりした時は、主治医に相談してください。
- 9) 強く力んでの排便は出来る限り避けてください。
便秘気味のかたは、前もって主治医に相談してください。
- 10) メモカスを留置すると、尿が出やすくなっているため尿漏れ(失禁)することがありますが、徐々に改善します。
2週間過ぎても失禁が続くようであれば主治医に相談してください。
- 11) メモカスを留置した直後は、留置箇所付近に違和感が生じる場合もありますので、主治医から渡された薬は必ず服用してください。尚痛みが2週間以上続く場合は、主治医に相談してください。

上記のような事を行い、排尿状態が細くなったり、血尿になったりした場合必ず主治医に相談してください。

II 留置1ヶ月後の注意

- 1) 自転車、バイク等には出来るだけ乗らないようにしてください。乗らなければならない時は、十分な注意を払って乗るようにしてください。尚悪路や段差のある場所での乗車は避けてください。
- 2) 下腹部への急激な加圧は避けてください。
- 3) 血尿、尿のにごり等が見られる時は、主治医に相談してください。
- 4) 尿の出具合が細くなったり、以前より悪くなった場合、主治医に相談してください。
- 5) 1ヶ月過ぎても失禁が続く場合、主治医に相談してください。
- 6) 1ヶ月過ぎても尿道、前立腺部、膀胱部に痛み等がある場合、主治医に相談してください。
- 7) メモカスは永久的に留置出来るものではありませんので、6ヶ月過ぎて以下の症状が出ましたらメモカスの交換を考えて、主治医に相談してください。
 - ①尿の出具合がメモカス留置直後より悪くなった場合。
 - ②血尿、尿のにごりが見られる場合。
 - ③過去に結石の治療を受けた方、または結石が出来やすいと言われた方。

株式会社 キースマック

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-2-8
TEL(03)3292-2506 FAX(03)3292-2507
E-Mail:info@kysmaq.co.jp
URL:http://www.kysmaq.co.jp

メモカス O44 留置方法（腎盂バルーン使用留置方法）—X 線透視

1 メモカス O44 挿入用シース

腎盂バルーンを用いてメモカス挿入する場合、還流液を使用しないので三方活栓をはずして使用する事も出来ます。

2 10Fr 腎盂バルーンの挿入

メモカス落下に注意

シースの中の芯棒を絶対先に引き抜かないでください。

黒いツマミを緩め、シースの中の芯棒を押し出し、先端を 3,4cm 引き出してください。次に黒いツマミの方から 10Fr 腎盂バルーンを挿入して、芯棒を押し出し 2cm 程メモカス先端から出してください。

3 温水注入用チューブの取付け 温水；メモカス近位端拡張用

腎盂バルーンのカフをメモカスの径より若干大きめに膨らませ、バルーンを引き黒いツマミを締め付けます。三方活栓の付いていた所に温水注入用チューブを取付けます。

4 メモカスの挿入

メモカスを挿入する直前に、尿道麻酔用ゼリー（キシロカインゼリー）を十分に注入してください。（必要ならばガイドワイヤーを使用）
メモカスが尿道内の狭窄部よりも 5～10mm 上部まで、挿入システムを前進させ、狭窄部全体を覆うようにしてください。
同時にメモカス拡張用温水（55～60℃生食液 50ml）を準備してください。

5 メモカス留置、固定

メモカス拡張用温水（55～60℃生食液 50ml）がメモカス近位端に行き渡るとメモカス近位端が拡張し、その位置に固定されます。

6 腎盂バルーン、シースの取出し

内側シース
外側シース

腎盂バルーンの液を完全にデフレートしてからカテーテルを抜き、次に外側シースをメモカスの遠位端にあたる所でしっかりと固持し、内側シースを慎重に引き抜きます。

※狭窄部の計測

狭窄部の計測は腎盂バルーン（又は膀胱鏡）を用いて狭窄部の膀胱近位部と遠位部に印しをおき、その間隔を測定する。

狭窄部の長さ；計測値+10mm

メモカス O44TW 留置方法 (硬性鏡による留置)

輸入・発売元
株式会社キースマック
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-2-8
TEL03(3292)2506 FAX03(3292)2507
E-mail: info@kysmaq.co.jp
URL: <http://www.kysmaq.co.jp>

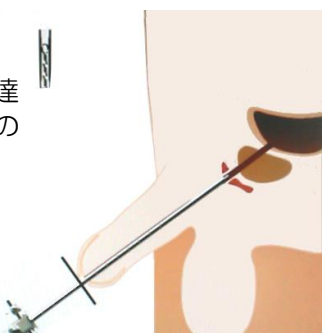
1 挿入前の確認

狭窄が強い場合ブジー等を用いて尿道拡張を行ってください。またメモカス拡張のための十分なスペースがあるかどうかを確認してください。



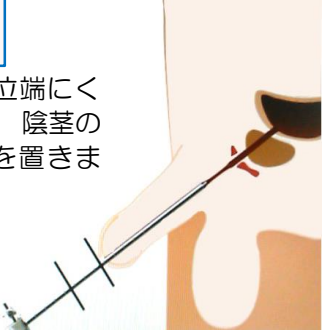
2 狭窄部の測定 1

膀胱鏡が狭窄の近位端に達したら、陰茎の端に最初のクリップを置きます。



3 狭窄部の測定 2

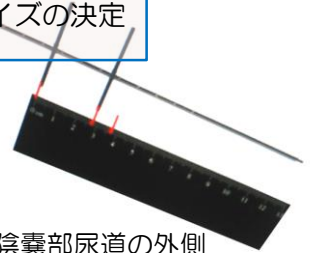
膀胱鏡の先端が狭窄の遠位端にくるまで膀胱鏡を引き抜き、陰茎の端に 2 番目のクリップを置きます。



4 スtentサイズの決定

狭窄部を測定する。
狭窄部の長さ；
実測値+10mm

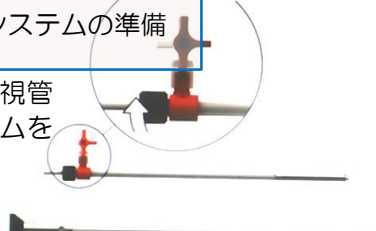
メモカスの遠位端を陰嚢部尿道の外側に配置することを推奨します。(患者に不快感を与える可能性をなくすため)



5 挿入システムの準備

膀胱鏡の光学視管と挿入システムを準備します。

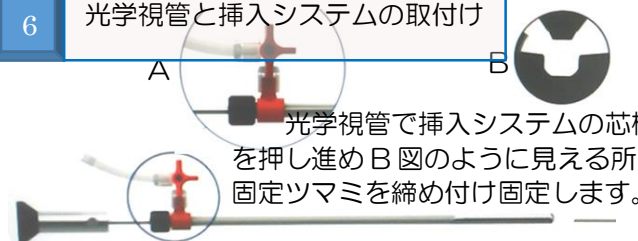
挿入システムの端にある黒い固定ツマミを静かに緩めます。



6 光学視管と挿入システムの取付け

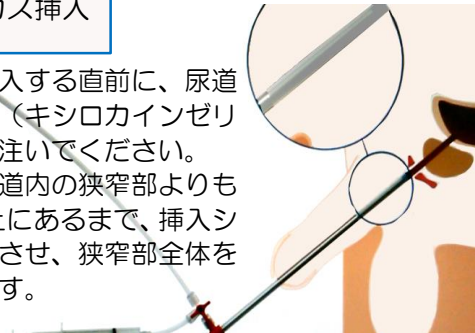
光学視管で挿入システムの芯棒を押し進め B 図のように見える所で固定ツマミを締め付け固定します。

延長チューブを A 図のように 3 方活栓の水平ポートに取付けます。(メモカス拡張用 55-60℃の生食液注入のため)



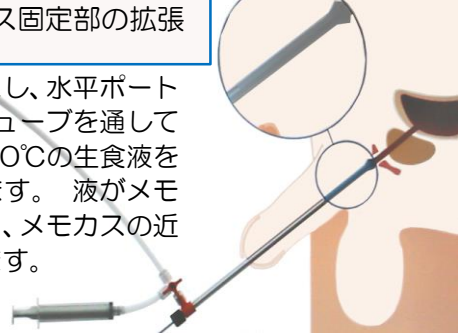
7 メモカス挿入

メモカスを挿入する直前に、尿道麻酔用ゼリー(キシロカインゼリー)を十分に注いでください。メモカスが尿道内の狭窄部よりも 5~10mm 上にあるまで、挿入システムを前進させ、狭窄部全体を覆う様にします。



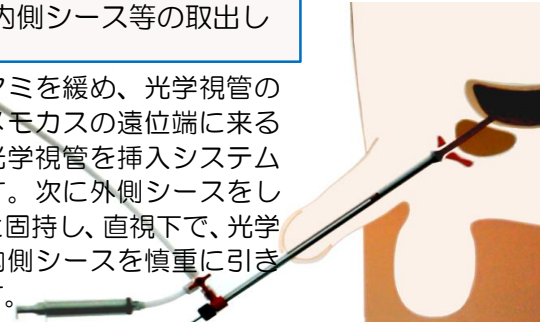
8 メモカス固定部の拡張

灌流液をオフにし、水平ポートを開き、延長チューブを通して 50ml の 55-60℃の生食液をフラッシュします。液がメモカスに達すると、メモカスの近位端が拡張します。



9 内側シース等の取出し

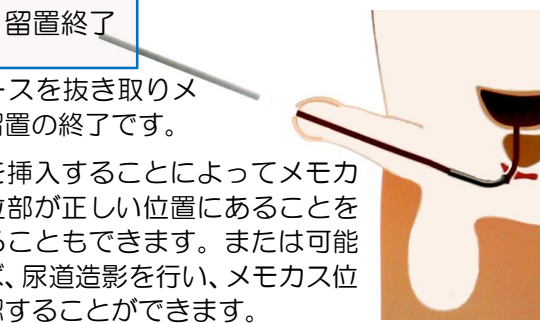
固定ツマミを緩め、光学視管の先端がメモカスの遠位端に来るまで、光学視管を挿入システム内に戻す。次に外側シースをしっかりと固持し、直視下で、光学視管と内側シースを慎重に引き戻します。



10 留置終了

外側シースを抜き取りメモカス留置の終了です。

膀胱鏡を挿入することによってメモカスの遠位部が正しい位置にあることを確認することもできます。または可能であれば、尿道造影を行い、メモカス位置を確認することができます。



メモカス 044 保険適用のご案内

(尿道狭窄に使用した場合)

- 対 象 製 品 名 : メモカス 形状記憶ステント
- 承 認 番 号 : 22700BZX00339000
- 特定保険医療材料 : II 036 尿道ステント (1)一時留置(交換)型 ①長期留置型
- 保 険 請 求 価 格 : 1 6 9 , 0 0 0 円 (保険償還価格による、税込み)
- 手 術 手 技 料 : 区分「K 8 2 1」尿道狭窄内視鏡手術 (1 5 , 0 4 0 点) を準用して算定する。但し、手術に伴う画像診断及び検査の費用は算定しない。

※ 本手技料は尿道狭窄用として使用した場合のもので、前立腺部尿道拡張用に使用した場合の手技料ではありません。

■ レセプト記載例 :

手術実施日記入 (月 日)	
尿道狭窄内視鏡手術	15,040 x 1
区分「K821」(150.4 千円)	
麻酔薬剤(局所麻酔)	点数 x 1
キシロカイン・ゼリー 20ml	
II 036(1)① メモカス XXmm	16,900 x 1
(169 千円)	
使用薬剤(抗菌剤他)	点数 x 1

- 適 応 症 例 : 尿道狭窄による尿閉及び排尿障害を有する高齢の患者を対象とする。

(手技料についての最終判断は支払基金にお問い合わせ下さい。)

製造販売元

東京都千代田区猿樂町 2-2-8
映文社ビル 3 階
株式会社 キースマック
TEL:03 (3292) 2506 FAX:03 (3292) 2507

メモカス 044T/TW 留置/抜去の際に準備するもの

【留 置 時】

- ① メモカス 044T/TW セット **【持込み品】**
- ② 温度計(水温測定用) **【持込み品】**
- ③ 硬性膀胱鏡用光学視管
(径 4mm, 0° -15°, 有効長 27cm 以上)
- ④ 消毒液(ヒドテン又はイゾジン)
- ⑤ 手術用手袋(術者用)
- ⑥ 60℃以上の滅菌精製水(又は生理食塩水)
200cc
- ⑦ 生理食塩水 500cc
- ⑧ 局所麻酔剤(キシロカインゼリー等)
- ⑨ 造影剤(イハミロン等)
- ⑩ ティスホ・シリンジ 50cc, 3cc 又は 5cc
- ⑪ 浣腸器・50cc
- ⑫ 尿道フジ-
- ⑬ ビーカー・300cc
- ⑭ 無鉤ドレッシングピンスセット
- ⑮ のうぼん
- ⑯ 尿瓶
- ⑰ 無菌ドレーフ 穴あき
- ⑱ 無菌ドレーフ シーツ
- ⑲ ガーゼ

【抜 去 時】

- ① 温度計(水温測定用) **【持込み品】**
- ② 硬性又は軟性膀胱鏡
- ③ 鰐口把持鉗子(上記②に適合したもの)
- ④ 消毒液(ヒドテン又はイゾジン)
- ⑤ 手術用手袋(術者用)
- ⑥ 5~10℃の滅菌精製水(又は生理食塩水)
500cc
- ⑦ 局所麻酔剤(キシロカインゼリー等)
- ⑧ ティスホ・シリンジ 50cc, 3cc 又は 5cc
- ⑨ 浣腸器・50cc
- ⑩ ビーカー・300cc
- ⑪ 無鉤ドレッシングピンスセット
- ⑫ のうぼん
- ⑬ 無菌ドレーフ 穴あき
- ⑭ 無菌ドレーフ シーツ
- ⑮ ガーゼ

尿道狭窄用ステント メモカス O44 を留置された方は、必ず留置 1 週間後、3 週間後、1 ヶ月後、3 ヶ月後、6 ヶ月後、1 年後と定期健診を受けてください。

I 留置後 1 ヶ月位は下記のことに注意し、留置直後は安静にしてください。

- 1) 踏ん張らなければいけないような、重い物を持ったり、ささえたりしないでください。
- 2) 椅子等に腰を下ろす時、急激な着席はやめてください。
畳に座る時も同様にしてください。
- 3) 入浴の際、浴槽の縁に下腹部を強く押し付けないでください。
- 4) 自転車、バイク等にはなるべく乗らないでください。
- 5) 乗用車、バス等に乗るとき着席時には十分注意してください。
- 6) 階段、又は段差のある所での飛び降り、踏み外しに十分気をつけて、これを行なわないで下さい。
- 7) 過激な行動は避けてください。(性行為は控えてください)
- 8) 転んだり、しりもちをついたりしない様十分気をつけてください。
- 9) カテーテル等の挿入はやめてください。
カテーテルの挿入が必要な時は主治医に相談してください。
- 10) 会陰部に触れたり押したり絶対しないでください。
- 11) メモカスを留置した直後は、留置箇所付近に違和感が生じる場合もありますので、主治医から渡された薬は必ず服用してください。尚痛みが 2 週間以上続く場合は、主治医に相談してください。

上記のような事を行い、排尿状態が細くなったり、血尿になったりした場合必ず主治医に相談してください。

II 留置 1 ヶ月後の注意

- 1) 自転車、バイク等には出来るだけ乗らないようにしてください。乗らなければならない時は、十分に注意して乗るようにしてください。尚悪路や段差のある場所での乗車は避けてください。
- 2) 下腹部への急激な加圧は避けてください。
- 3) 血尿、尿のにごり等が見られる時は、主治医に相談してください。
- 4) 尿の出具合が細くなったり、以前より悪くなった場合、主治医に相談してください。
- 5) 1 ヶ月過ぎても失禁が続く場合、主治医に相談してください。
- 6) 1 ヶ月過ぎても尿道等に痛み等がある場合、主治医に相談してください。
- 7) メモカスは永久的に留置出来るものではありませんので、6 ヶ月過ぎて以下の症状が出ましたらメモカスの交換を考えて、主治医に相談してください。
 - ①尿の出具合がメモカス留置直後より悪くなった場合。
 - ②血尿、尿のにごりが見られる場合。
 - ③過去に結石の治療を受けた方、または結石が出来やすいと言われた方。

株式会社 キースマック

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-2-8
TEL (03) 3292-2506 FAX (03) 3292-2507
E-Mail: info@kysmaq.co.jp
URL: <http://www.kysmaq.co.jp>

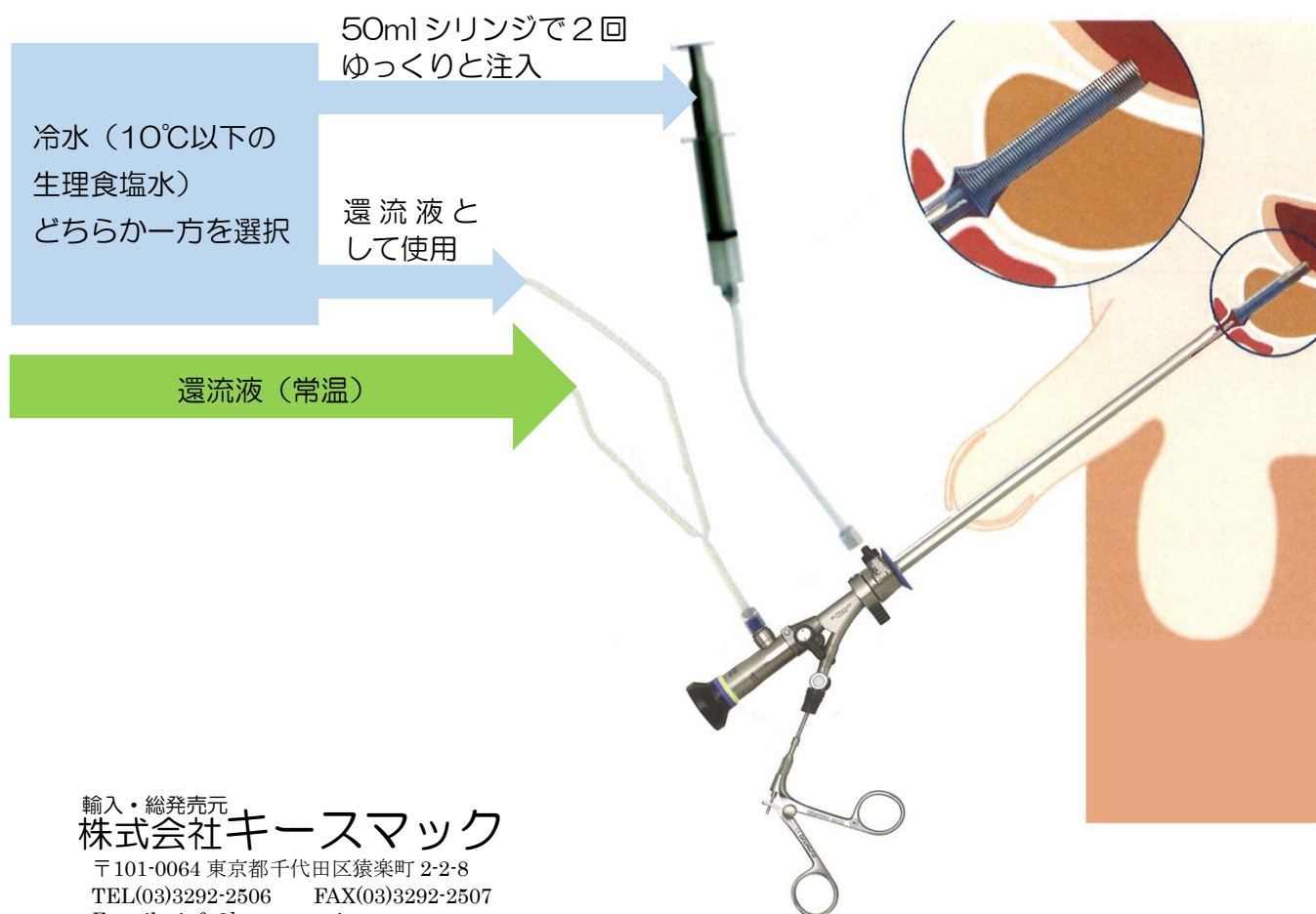
尿道ステント メモカス抜去方法

メモカス抜去に必要な器材

- | | |
|---|---------------------------|
| 1、硬性または軟性膀胱鏡 | 7、ビーカー300ml（10℃以下の生理食塩水用） |
| 2、異物鉗子（把持部鰐口または有鉤） | 8、手術用手袋（術者用） |
| 3、還流液 | 9、無鉤ドレッシングピンセット |
| 4、10℃以下の生理食塩水（200～500ml） | 10、膿盆 |
| 5、局所麻酔剤（キシロカインゼリー30ml）
（状況に応じて仙骨・腰椎麻酔） | 11、ガーゼ |
| 6、無菌ドレープ（内視鏡検査用） | 12、ガイドワイヤー |

メモカス抜去方法

- ① 尿道に局所麻酔剤（キシロカインゼリー）を十分に注入してください。
- ② 安全のため必要ならばガイドワイヤーを挿入してください。
- ③ 膀胱鏡をメモカスの下端（拡張部）まで挿入してください。
- ④ 異物鉗子でメモカスの下端（コイルの手前から1～2本）をしっかりと把持してください。
- ⑤ 10℃の生理食塩水 100～200ml を膀胱鏡経由でメモカス内に注入してください。
- ⑥ メモカスは軟化しますので素早く膀胱鏡の外套内を通して外に引出してください。
（注意：冷却後2、3分経過すると体温で尿道内の温度が上昇しメモカスは硬化します。）
- ⑦ メモカスの抜去が完了したら前立腺部及び前部尿道の状態を確認し、膀胱鏡を抜いてください。



輸入・総発売元

株式会社キースマック

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-2-8

TEL(03)3292-2506 FAX(03)3292-2507

E-mail : info@kysmaq.co.jp

URL: http://www.kysmaq.co.jp